



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 ペットゴー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7140 URL https://corp.petgo.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 黒澤 弘
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画部長（氏名） 佐藤 建史（MAIL） ir@petgo.co.jp
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,695	△19.0	△118	—	△125	—	△114	—
2025年3月期第3四半期	7,035	△7.1	270	22.3	259	19.9	173	16.0

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 △102百万円（—%） 2025年3月期第3四半期 173百万円（16.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△61.24	—
2025年3月期第3四半期	92.71	92.69

（注）2026年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,571	1,187	32.5
2025年3月期	3,310	1,226	37.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 1,161百万円 2025年3月期 1,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,445	△14.3	△171	—	△178	—	△142	—	△76.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社FLAFFY 、除外 —社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	1,884,200株	2025年3月期	1,878,700株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,783株	2025年3月期	53,683株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	1,877,737株	2025年3月期3Q	1,871,734株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

- ・決算説明補足資料は、決算短信の発表と同日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、物価上昇の影響を受けつつも、個人消費は緩やかに増加しております。また、当社グループが取り扱うペットフードやペット用品は、犬猫の日常生活に必要な消費財であります。

当社グループが属するペット業界におきましては、犬の飼育頭数が減少傾向、猫の飼育頭数は微増傾向であることに加えて、原材料価格の高騰や急激な円安に伴う価格改定が頻繁に行われており、物量の大幅な拡大は見られておりません。一方で、健康志向の高まりによって高付加価値商品に対する飼い主の需要が増加しており、ペット市場の中でもヘルスケアの分野は着実に拡大しております。

また飼育頭数が減少する中でも、医療技術の進歩や健康志向の高まりなどペットに対する意識が変化しており、ペットの平均寿命が長くなると同時に、1頭当たりのペット関連年間支出額も増加傾向となっており、「ペット関連支出の増加」及び「犬猫の平均寿命の伸長」により、ペットヘルスケア市場は今後も堅調に推移していくことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは「ハッピーペットライフ・ハッピーワールドへペットライフを幸せに・世の中を幸せに」という当社のスローガンを実現すべく事業に取り組んでまいりました。

当社グループは、「D2Cシフト」を中期成長戦略として掲げており、ナショナルブランドを主体とした事業構造からD2Cブランドを主体とした事業構造にシフトしていくことを目指しております。また、新規領域への取り組みの一環として、当第3四半期連結会計期間に株式会社DogHuggyの株式を取得しました。

当第3四半期連結累計期間については、食事療法食に関するD2Cブランド製品の上市やオフライン店舗へのD2Cブランドの展開を拡大し、くわえてD2Cブランドの成長に向けた広告販促投資等の施策を実施しました。その結果、**D2Cブランド製品の売上高は1,914,779千円（前年同四半期比40.3%増）**となり、ブランド売上高合計に占める**D2Cブランドの売上高比率は33.6%**まで拡大しております（前年同四半期は18.8%）。一方、ナショナルブランド商品売上高は、ナショナルブランドメーカーの商流変更の影響等により減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高5,695,106千円（前年同四半期比19.0%減）、営業損失118,331千円（前年同四半期は営業利益270,789千円）、経常損失125,620千円（前年同四半期は経常利益259,957千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失114,991千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益173,537千円）となりました。

また、第1四半期連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としており、新たに「ペットメディア事業」と記載しております。また、ペットゴー株式会社及びペットゴープロダクツ株式会社のペットヘルスケア事業につきましては、「ペットコマース事業」と記載しております。セグメントの業績は次のとおりであります。

① ペットコマース事業

当第3四半期連結累計期間におけるペットコマース事業は、新規商品の上市、D2Cブランドのオフライン展開の拡大及び広告販促投資等の施策を実施した結果、売上高は5,478,131千円、セグメント利益(営業利益)は85,029千円となりました。

また、ペットコマース事業における自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高は以下の通りとなります。

・自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高

(単位：千円)

販売経路別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
自社オンラインサイト	2,397,234	1,704,228	△693,006
他社オンラインモール等	4,638,066	3,773,902	△864,163
合計	7,035,301	5,478,131	△1,557,170

② ペットメディア事業

当第3四半期連結累計期間におけるペットメディア事業の売上高は216,975千円、セグメント利益(営業利益)は70,463千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、260,750千円増加し、3,571,366千円となりました。これは主に、現金及び預金が407,765千円減少した一方で、のれんが310,001千円、商品が67,272千円、未収入金が59,450千円とそれぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末と比較して、299,100千円増加し、2,383,566千円となりました。これは主に、長期借入金が50,676千円減少した一方で、買掛金が233,211千円、短期借入金が239,975千円とそれぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、38,350千円減少し、1,187,800千円となりました。これは主に、自己株式が40,555千円減少したこと及び非支配株主持分が26,663千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失114,991千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当社グループが合理的と判断する一定の条件に基づいた目標数値となっております。第4四半期も、ナショナルブランド商品の売上高減少のトレンドは継続する見込みであります。D2Cブランドは品揃え拡充や販売チャネルの拡大等を計画しており、D2Cブランド製品の売上高は引き続き増加する見通しであります。その他、業績予想の前提とした状況に大きな変化はなく、2025年5月14日付け「2025年3月期決算短信」で発表しました連結業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263,596	855,831
売掛金	400,510	441,652
商品	1,355,842	1,423,115
貯蔵品	2,918	3,802
未収入金	141,723	201,173
その他	49,084	127,046
貸倒引当金	—	△110
流動資産合計	3,213,675	3,052,511
固定資産		
有形固定資産		
建物	52,149	52,149
車両運搬具	5,728	7,362
工具、器具及び備品	74,740	80,083
リース資産	3,428	3,428
減価償却累計額	△117,015	△121,810
有形固定資産合計	19,030	21,213
無形固定資産		
のれん	—	310,001
ソフトウェア	101	66
その他	35	27
無形固定資産合計	137	310,095
投資その他の資産		
繰延税金資産	21,559	80,366
その他	56,213	107,179
投資その他の資産合計	77,773	187,546
固定資産合計	96,941	518,855
資産合計	3,310,616	3,571,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	532,787	765,999
短期借入金	761,691	1,001,666
1年内返済予定の長期借入金	70,008	70,801
未払金	195,933	170,683
未払法人税等	74,587	27,153
賞与引当金	17,737	9,303
その他	123,917	94,143
流動負債合計	1,776,663	2,139,750
固定負債		
長期借入金	279,992	229,316
資産除去債務	27,811	14,500
固定負債合計	307,803	243,816
負債合計	2,084,466	2,383,566
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,250	462,310
資本剰余金	417,250	424,612
利益剰余金	392,279	277,287
自己株式	△43,630	△3,074
株主資本合計	1,226,150	1,161,136
非支配株主持分	—	26,663
純資産合計	1,226,150	1,187,800
負債純資産合計	3,310,616	3,571,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	7,035,301	5,695,106
売上原価	4,847,784	3,963,798
売上総利益	2,187,517	1,731,307
販売費及び一般管理費	1,916,728	1,849,639
営業利益又は営業損失(△)	270,789	△118,331
営業外収益		
受取利息	98	1,169
受取賃貸料	17,772	17,772
その他	2,031	3,484
営業外収益合計	19,902	22,427
営業外費用		
支払利息	9,763	12,316
支払賃料	17,151	17,151
その他	3,819	247
営業外費用合計	30,734	29,715
経常利益又は経常損失(△)	259,957	△125,620
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	259,957	△125,620
法人税、住民税及び事業税	94,423	37,782
法人税等調整額	△8,004	△60,592
法人税等合計	86,419	△22,810
四半期純利益又は四半期純損失(△)	173,537	△102,810
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	12,181
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	173,537	△114,991

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	173,537	△102,810
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	173,537	△102,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,537	△114,991
非支配株主に係る四半期包括利益	—	12,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づき当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
当座貸越極度額の総額	2,300,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	561,691 "	1,001,666 "
差 引	1,738,309千円	998,334千円

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	7,255千円	6,538千円
のれん償却額	— "	32,069 "

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書(注)2
	ペットコマース事業	ペットメディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,035,301	—	7,035,301	—	7,035,301
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,035,301	—	7,035,301	—	7,035,301
セグメント利益又は損失(△)	536,769	—	536,769	△265,980	270,789

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△265,980千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書(注)2
	ペットコマース事業	ペットメディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,478,131	216,975	5,695,106	—	5,695,106
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,478,131	216,975	5,695,106	—	5,695,106
セグメント利益又は損失(△)	85,029	70,463	155,492	△273,824	△118,331

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△273,824千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としており、新たに「ペットメディア事業」と記載しております。また、ペットゴー株式会社及びペットゴープロダクツ株式会社のペットヘルスケア事業につきましては、「ペットコマース事業」と記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとののれんに関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ペットメディア事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、株式会社FLAFFYの株式を取得し連結子会社としたことにより、当第3四半期連結会計期間末でのれん310,001千円を計上しております。